

北条義時

鎌倉

～13人の重臣～



紹介一覧

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1 源頼朝 | 6 安達盛長 | 11 比企能員 |
| 2 北条政子 | 7 和田義盛 | 12 北条時政 |
| 3 北条義時 | 8 梶原景時 | 13 二階堂行政 |
| 4 大江広元 | 9 三浦義澄 | 14 足立遠元 |
| 5 中原親能 | 10 三喜康信 | 15 八田知家 |

ホテルスタッフの手作り! 「鎌倉殿と13人の重臣」ゆかりの地ガイド

歴史をもっと身近に楽しんでいただけるよう、スタッフが手作業で作成したオリジナルのリーフレットです。

<あらかじめご了承ください>

- ・各スポットの情報は、変更になっている場合がございます。
 - ・アクセスマップはスタッフの手書きのため、実際の位置関係と多少の誤差がある場合がございます。
- 詳しい行き方はお近くのスタッフへお尋ねください。



PDF

北条義時

鎌倉

～13人の重臣～

みなもとの

よりとも

源頼朝

1147 ~ 1199年



料金は現地にてご確認ください

～圧倒的なリーダーシップで武家社会の基礎を築いた鎌倉幕府初代将軍～

源頼朝は尾張国(現在の愛知県)熱田で、武士の源義朝と熱田神宮の神職・藤原季範の娘との間に三男として生まれました。1159年平治の乱で父・義朝が平氏の平清盛に敗れ、13歳の頼朝は伊豆国(現在の静岡県)に流罪となりました。その地で出会った北条政子と大恋愛の末、30歳で結婚。流刑の地で過ごしてきた20年で学問を究め、周囲の信頼を得た頼朝は1180年に平家打倒の方策を掲げついに挙兵。1192年に征夷大将軍に任じられ、武家政権を樹立した人物です。



ゆかりの地



神聖な神の使いとされている二羽の鳩。すぐに見つかるでしょうか?!

つるがおかほちまんぐ

鶴岡八幡宮

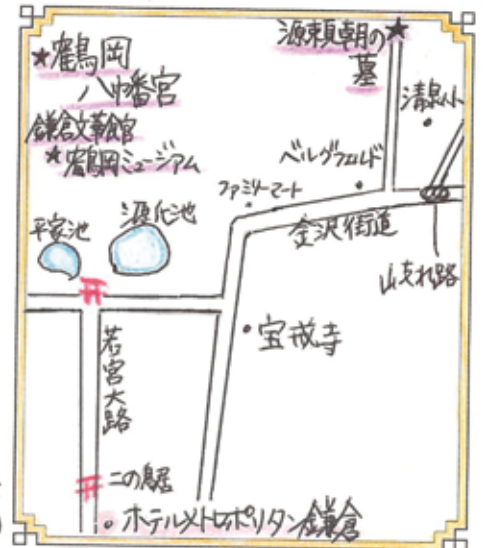
源頼朝の祖先・源頼義が源氏の守り神として由比郷鶴岡(現在の材木座)に京都の石清水八幡宮を勧請(神仏の分霊を他の地に移動して祭ること)したことからはじまります。源頼朝が現在の地に遷し、鶴岡八幡宮を篤く崇敬すると共に、武家の都市造りの中心としました。

鶴岡八幡宮内でおすすめ!!

パワースポットでちょっとひといき



鎌倉文華館鶴岡ミュージアム本館隣接のカフェ本宮に続く階段横で歴史を見守り続けてきた大銀杏。樹齢千年とも言われていたご神木が2010年強風の為倒木。この大銀杏の一部が置かれたカフェで、オリジナルスイーツドリンクをいただけます。心身共にパワーチャージ!! ミュージアムに入館しなくても、カフェ利用が可能です。



<営業時間> 10:00~17:00(L/O 16:30) 月曜定休(祝日の場合翌日)

鶴岡八幡宮まで、ホテルより徒歩約10分です。

ちよっとより道

源頼朝の墓

源頼朝は落馬が原因となり1199年53歳で亡くなったとされていますが、はっきりとした死因は分かっていません。現在頼朝の墓がある場所は、頼朝の生前に持仏堂として建てられ、没後に法華堂と呼ばれていた場所の跡地です。現在この法華堂跡地には頼朝の墓と云われる石塔があります。

<アクセス> ホテルより徒歩18分程、鶴岡八幡宮より徒歩約8分です。

担当スタッフ: K

北条義時 鎌倉
 ~13人の重臣~

ほうじょう まきこ
北条 政子
 1157 ~ 1225年



料金は現地にて
 ご確認ください

~御台所から尼御台、尼將軍へ。鎌倉幕府に貢献したカリスマ女性~

伊豆国(現在の静岡県)の有力者北条時政の長女。父・時政は、平治の乱に敗れ伊豆国に流罪となった源頼朝の監視役でした。頼朝と大恋愛の末周囲の反文才を押し切り結婚。娘2人(大姫・三幡)、息子2人(頼家・実朝)に恵まれましたが皆に失われています。夫・頼朝七き後出家し尼となつては、お幕府を動かす発言を持っていました。息子である頼家また父である時政を相次いで処罰するなど、身内を追放してまで鎌倉幕府の存続に奔走し、リーダーシップを発揮した女性でした。



ゆかりの地

あんよういん
安養院

1225年、北条政子が源頼朝の冥福を祈って建てた「長楽寺」が前身といわれています。「安養院」とは、政子の法名です。本堂には政子の像などが安置されています。つじの名所としても知られており、5月ゴールデンウィーク頃にはオムラサキリツジが寺中に咲き誇ります。境内から少し離れた墓地には、黒澤明 映画監督のお墓があります。

<アクセス>

住所: 鎌倉市大町3丁目1-22 ホテルより 徒歩10分程度

<拝観>

拝観料: 200円 拝観時間: 8:00 ~ 16:00

だん かすら
段 葛

二の鳥居から鶴岡八幡宮へ続く一段高く造られた道が段葛です。かつては由比が浜の一の鳥居まで続いていましたが、鉄道建設の為撤去されました。段葛には遠近法が用いられ鶴岡八幡宮に近づくにつれ道幅が狭くなっています。この理由は諸説あり、敵が攻め入った際に八幡宮までの距離を遠く思わせる軍事上の対策ともいわれています。



歴史書「吾妻鏡」には、政子が第二子(頼家)を懐妊した際、夫・頼朝が安産祈願の為建設した旨、また、頼朝自らが指揮をとり、政子の父・時政をはじめ有力御家人達が土や石を運んだと言記されています。

担当スタッフ: K

北条義時

鎌倉
~13人の重臣~

ほうじょう よしとき

北条 義時

1163~1224年



~執権政治を確立し、幕府の最高権力を握った男~

伊豆国田方郡北条(現在の静岡県伊豆の国市)の在庁官人(国の役所の行政実務を担当する役人)を務める北条代に生まれます。父は時政、姉は源頼朝の正室・政子。頼朝からの信頼は篤く、頼朝の寝所を警護する側近として仕えました。頼朝七き後、頼家の代になると、十三人の合議制に加わりましたが、次第に初代執権の父・時政と対立。姉政子と共に時政を追放し、第二代執権となりました。御家人同士の闘争を巧みに立ち回り、承久の乱で勝利をおさめて最高権力者として君臨しました。



ゆかりの地

かくおんじ
覚園寺

1218年に北条義時が建立した大蔵薬師堂をもとに、1296年に北条貞時が心慧上人を月山として覚園寺を創建しました。本堂には、夢の中で義時に暗殺の危機を告げたといわれる十二神将のうちの戌神将が安置されています。

<アクセス>

住所：鎌倉市二階堂421

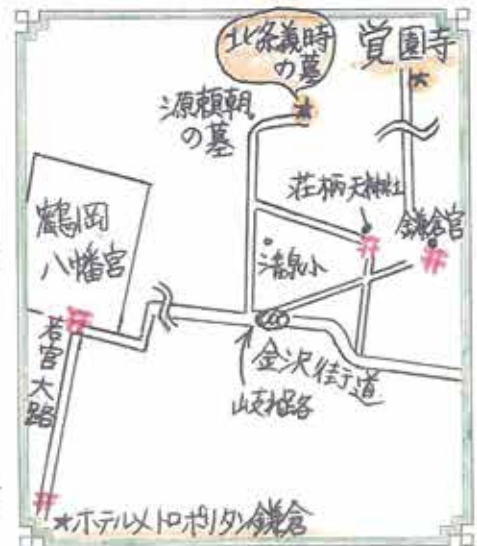
バス：JR鎌倉駅東口 5番乗り場

鎌倉宮(大塔宮)行き「大塔宮」下車徒歩約10分
(左手の細い川に沿って緩やかな坂道を上った突き当り)

徒歩：ホテルより約35分

<拝観>

拝観料：500円 時間：10:00~16:00
(最終入場受付 15:40)



法華堂跡(北条義時の墓)

源頼朝の墓から約100m東にある法華堂跡(北条義時の墓)。2005年の発掘調査で遺構が発見されました。堂は鎌倉時代後期に廃絶したとみられています。十三人の合議制の一人であった大江広元とその子毛利季光、頼朝の子ともいわれる島津忠久の墓が法華堂跡の奥階段をのぼった所にあります。

<アクセス> 住所：鎌倉市西御門2-5 徒歩：ホテルから約18分、覚園寺から約13分

担当スタッフ：K

北条義時
鎌倉
~13人の重臣~

おおえの ひろもと
大江 広元
1148~1225年

~源頼朝に招かれて京都から下った無二の側近~

平安末期から鎌倉前期にかけての京下りの更禿(役人)。鎌倉で源頼朝の側近となり、鎌倉幕府の政所別当として幕府創設に貢献。朝廷の内情に詳しいことから、公武交渉の窓口となり、手腕を発揮。頼朝の死後、源実朝の代になると、北条氏との協調関係を保ち、鎌倉殿の政治を補佐した。



ゆかりの地

大江縮荷神社

大江広元を祀る、風情ある神社。石段、赤い鳥居、参道の奥に小さな社がある。(※石段は三十段程あるので、歩きやすい靴で行くことがオススメ!!) 生前は十二所に屋敷を構えたという伝承があり、明石橋付近に屋敷跡の石碑が残る。



〈アクセス〉

住所: 鎌倉市十二所 114

バス: JR鎌倉駅東口から「金沢八景駅行」または

「鎌倉霊園正門太刀洗行」バスで「十二所」もしくは

「十二所神社」バス停下車徒歩約3分

① ちよつとより道

青砥渡(4日) 水曜定休日(火曜日昼のみ営業)

バス: 青砥橋バス停下車徒歩2分

徒歩: ホテルより徒歩約3分



北条義時

鎌倉

～13人の重臣～

なかはらの

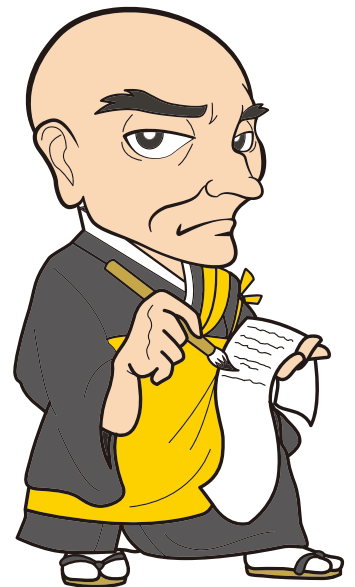
ちかよし

中原親能

1143～1208年

～京都と鎌倉を結んだ頼朝の知己～

平安末期から鎌倉初期にかけての貴族です。大江広元と同じく、儒学を専門とする京都の下級貴族 中原広季の養子であったとされています。幼少期を相模国で過ごし、同国の有力武士 波多野氏の女婿になります。流人時代の源頼朝と知り合っており、頼朝の挙兵に際し、京都との人脈を持っていたことから、鎌倉と京都の連絡役として活躍しました。また、親能の妻は、頼朝と政子の娘 三幡の乳母でした。親能も目をかけていたのですが、頼朝が亡くなった半年後に三幡も14歳の若さで亡くなります。親能は出家し、自らの屋敷があった亀谷の堂の傍らに葬られたと伝わります。



ゆかりの地



いわね ひざうどう
岩船地蔵堂

～頼朝の娘を悼み、弔う御堂～

岩船地蔵堂は亀ヶ谷坂切通の入口にあります。「岩船」の由来は、堂奥にある船形光背を背負った石造地蔵立像によるものです。源頼朝の長女 大姫の守り本尊という地蔵立像を安置していると伝わります。この地蔵堂がある扇が谷は、かつて亀谷と呼ばれ、大姫の妹 三幡の乳母夫であった中原親能の邸宅もこの亀谷にあったとされています。

<アクセス>

- ・住所・鎌倉市扇が谷 3丁目3
 - ・徒歩・ホテル約20分
- JR鎌倉駅 西口側へ行き、大船方面へ線路沿いを歩く。途中、寿福寺や英勝寺を通る。



ちよつと
より道

テ-レ-バ-ルト と カ-フ-エ
terre verte & khanom pang



個性豊かなパニヤ料理を味わい、焼栗子とコーヒーでリラックス出来るカフェです。席数は少ないですが、ソファ席もあって、本を読めたり、鎌倉の自然の音を聞きたりしながら



過ごすことができます。

(担当スタッフ: K)

<アクセス>

- ・住所・鎌倉市扇が谷 3-3-24
- ・岩船地蔵堂より徒歩 2分
- ・営業時間：12:00～18:30
- ・定休日：火・水・木
- ・パンのテイクアウト販売のみの場合もあります。

北条義時 鎌倉
~13人の重臣~

あだち もりなが
安達盛長
1135~1200年

~伊豆流人時代から頼朝に仕えた側近~



源頼朝の乳母上五尾の婿との関係から、伊豆国へと流刑となつた東頼朝に仕えた安達盛長。頼朝と伊豆の豪族・北条時政の長女と三政子との縁談を取り持つたという説もある。頼朝挙兵後は武勇を言ふも、石橋山の戦いにおいて敵軍の猛攻に耐え切れず、頼朝とともに安房国に逃走。後の鎌倉幕府成立に貢献する事になる下総国の大豪族・千葉常胤に頼朝側近の使者を送るが、戦局を左右する重要な役目を任せられたのも盛長でした。元治元年の頼朝死後、出家して蓮西と名乗り、同年4月二代将軍・頼家の宿老として十三人の合議制の一人にも翌年4月26日に死去。享年は66歳でした。

ゆかりの地 甘系電 甘系神社 甘系神社

住所▶▶ 鎌倉市長谷1-12-1

アクセス▶▶ 江ノ島電鉄「長谷駅」下車徒歩6分

拝観▶▶ 拝観料はなく、自由参拝可

和銅三年、豪族・染谷時忠により創建された鎌倉最古の神社。源氏からの信仰が篤く、頼朝、政子、実朝が参詣したとされています。鳥居木柱に「安達盛長隠址」の石碑が建てられており、頼朝の刀・髪切や安達の刀・鶴丸国永に縁深い「霜月騒動」にも関係しています。



曲がり角に大きな目印!
曲がったらすぐに鳥居が見える!!

鎌倉から本殿まで45段をせせと登り、振り返し住宅街の向こう側に木目黄三香!!
★階段は手すりついでござる★

ちよつとより道ニヤ てくてく歩いたらひと休み un caffè, Per favore!

1 エキョコ ベイク EKIYOKO BAKE 0467-37-9891 長谷2-14-11
ショーケースに並ぶ、焼菓子のケーキは目録ソ必須!
今日はどんな味のまじもスコーンが本主でしょう...

2 レストラン CIPRO 0467-25-4379 長谷2-16-15
美しいオレンジの照明が灯るどこか懐かしい、洋食屋さん。
スパークリングをほろほろ飲んだ牛肉に、甘いにんじんの入ったビーフシチューは昔懐かしのフランスに幸せなため息...



安達盛長担当: K

北条義時
鎌倉
～13人の重臣～

わだ よしもり
和田義盛
1147～1213年

～鎌倉幕府草創期の初代侍所別当～



平安末期から鎌倉初期にかけての武士
源頼朝の尊兵に才じ、戦功により初代侍所別当に任ぜられた。
剛勇を以て知られ、平家追討、奥州征伐にも功があり、
頼朝の信任も厚く、鎌倉幕府の有能な御家人の一人であった。
頼朝の死後、北条氏との対立は激化し、1213年「和田合戦」が
あり、北条義時と戦い、親族の三浦一族の裏切りもあり、和田一族は滅亡

ゆかりの地

わだづか

和田塚

～和田一族終焉の伝説が残る地～



明治25年、新道を開く為にこの塚の一部を掘ったところ、植輪や大量の人骨が発見され、「和田合戦」の時のものであろうと考えられた。それにより、「和田一族戦没地」の碑が立てられた。

アクセス

住所：鎌倉市由比が浜3丁目

江電：和田塚駅（鎌倉駅から1駅）より徒歩1分

徒歩：バスより約20分

ちょっと寄り道

くじらま

① 大地蔵

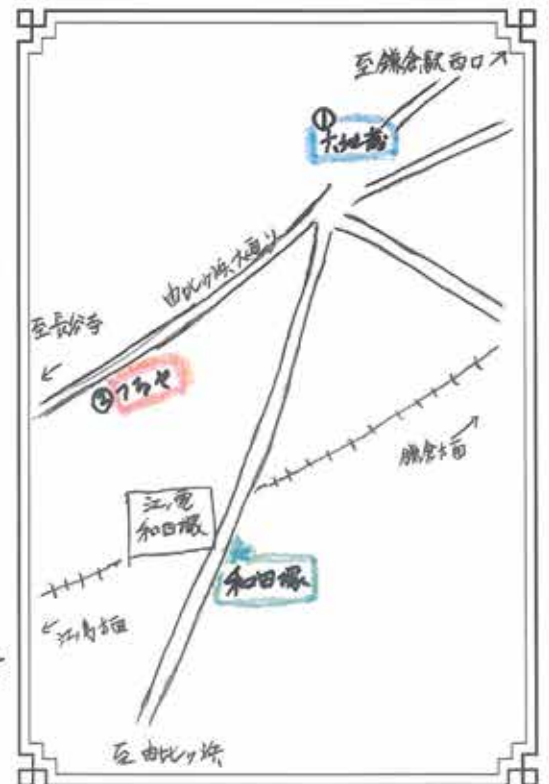
由比が浜木通り沿いに大体の地蔵が赤い頭巾をかぶり、よたよたかけを首にかけて並んでいる。諸説あるが、仏教では人間の苦しみの世界を大鯉鯉に分けて六道（ソコトウ）といい、地蔵がそれぞれの苦しみを救うように造られたことからつけられた名と言われる。

② フラヤ

由比が浜木通り沿いにある1929年創業のうなぎ専門店。少シランの深いうなぎを注文すると、鎌倉彫のオリジナル食箱に入れてきて、目でも楽しむことが出来る。人気の花舗の為、予約必須!!

営業時間：11:30～19:00（新型コロナウイルスの影響等で変更の可能性あり）

定休日：火・水 電話番号：0467-22-0727



(70オスガ77)

北条義時 鎌倉
 ~13人の重臣~

かじわら かげとき
梶原景時
 ? ~ 1200年

御霊神社
御朱印
 いただけます
 料金は現地にて
 ご確認ください

~頭の切れるインテリ武士~

平安末期から鎌倉初期の武士。鎌倉の梶原を本拠とした武士で、源頼朝が挙兵すると、頼朝と敵対する平家の勢力である大庭景親(おおはかけちか)側につきますが、石橋山の合戦で頼朝の危機を救い、以来頼朝の信頼を得て活躍します。平家追討の際には、源義経のもとで侍大将として出陣し、朝廷との連絡・言調整役もつとめました。しかし、頼朝の死後、源頼家に対して赤松朝光(ゆうきともみつ)が異心を抱いていると讒言したことにより、御家人らの弾力で失脚し、翌年単死しました。



ゆかりの地
 鎌倉市坂ノ下
御霊神社

★場所★ 鎌倉市坂ノ下4-9
 ★アクセス★ 江ノ電「長谷駅」下車
 徒歩3分

梶原景時をいじめとする鎌倉の祖・鎌倉権五郎景正(政)を祀っています。源頼朝が鎌倉に入る前からあったと伝わり、頼朝・義時の時代に存在した神社として重要で、梶原景時の本拠地である梶原にも、景正を祀る御霊神社があり、梶原景時と伝わる像が安置されています。
 ※境内は撮影禁止!!

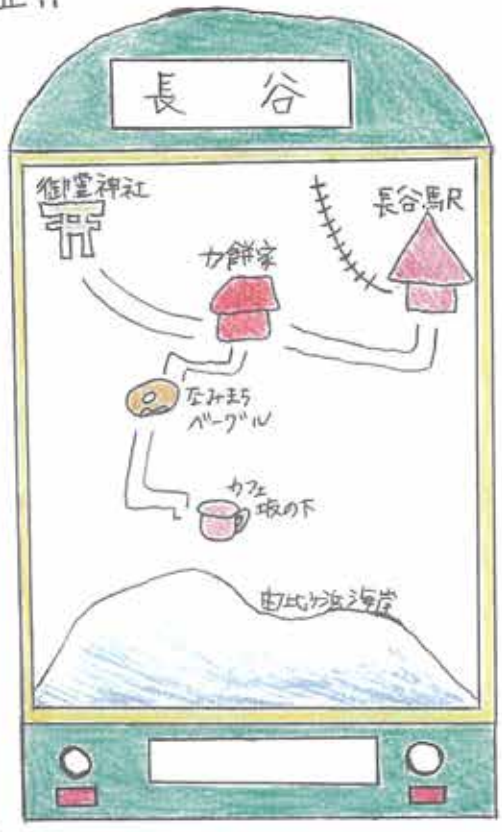
ちよつぷり道

カフェ&スイーツ

なみまちバグル... 素材にこだわったバグル
 築100年超の古民家を改装したカフェ
 場所... 鎌倉市坂ノ下19-12

サカシタ... ドラマの舞台にもなった
 古民家カフェ。コーヒーや
 パンケーキが味わえる!
 場所... 鎌倉市坂ノ下21-15

カ餅家... 江戸時代から続く
 老舗の和菓子屋!!
 美味しいお餅を堪能せよ!
 購入したらすぐに食べよう😊
 場所... 鎌倉市坂ノ下18-18



北条義時

鎌倉

～13人の重臣～

みうら

よしずみ

三浦義澄

1127～1200年



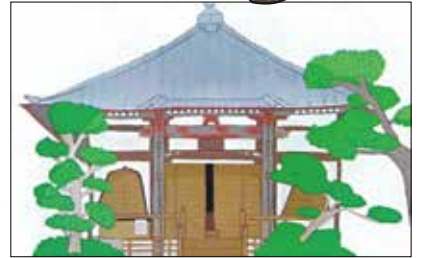
料金は現地にてご確認ください

～源義朝・頼朝父子とともに、平治の乱を戦った源氏譜代の家臣～

桓武平氏の流れを汲む三浦氏の一族で、三浦義明(よしみ)の次男。後に相模国の在庁官人(官僚)となり三浦郡を本拠としました。1159年の平治の乱では、源義朝(よしも)に従軍しました。1180年には拳兵した源頼朝(よるとも)と合流し、富エ川の合戦後に上洛(地方から天皇のいる京都に上ると)しようとした頼朝を思止ませるなど幕府の基礎固めに尽力しました。その後頼家(よりいえ)が鎌倉殿を継ぐと、鎌倉殿を支える13人の重臣に選ばれました。



ゆかりの地 来迎寺



源頼朝が三浦義澄の父 義明の菩提(死後の冥福のこと)を弔うために建立したという真言宗の能蔵寺の旧跡とされています。後世の音阿上人が時宗(鎌倉時代に興った浄土宗の一派)である来迎寺を開創しました。義明は89歳で亡くなるまで、源義朝・頼朝親子に忠を尽くしました。その功により、頼朝は三浦氏を厚遇することとなりました。

住所: 鎌倉市材木座2-9-19

アクセス バス: JR鎌倉駅東口より約7分+徒歩約5分
[鎌40]小坪経由 逗子駅行/[九品寺]下車
徒歩: ホテルより約20分 (くほんじ)

拝観時間: 10:00～16:00/無休

拝観料: 本堂 200円

ちよつとより道 ざいもくざかいがん 材木座海岸



[名称の由来] 鎌倉時代に「鎌倉七座」という商工組合があり、その内の一つが「材木座」でした。

★頼朝の嫡出の次男である源実朝が宋(中国)に渡る計画を立て、大きい船を完成させましたが、遠浅のため進水できなかったと伝えられています。

(担当スタッフ: H) 9

北条義時
鎌倉
~13人の重臣~

みよしの やすのぶ
三善 康信
1140~1221年

~鎌倉幕府の初代問注所執事~

平安末期から鎌倉初期にかけての京都の下級貴族。
明法道を専攻しする家に王れる。出家後は喜信という法名を名乗る。
康信の母は頼朝の乳母の妹。その関係から伊豆に
流されていた頼朝に月3度の頻度で使節を送り、
京都の情勢を伝えていた。



ゆかりの地

ひらうほわおし 問注所跡 鎌倉幕府の訴訟差盤

平氏追討直前にいた源頼朝は鎌倉幕府の
差盤整備を進めていた。政治を司る政所に
対して、裁判を担当する問注所が訴訟事務を
所管する機関として1184(元暦元年)年に設置された。
三善康信はその初代執事として手腕を発揮した。

アクセス

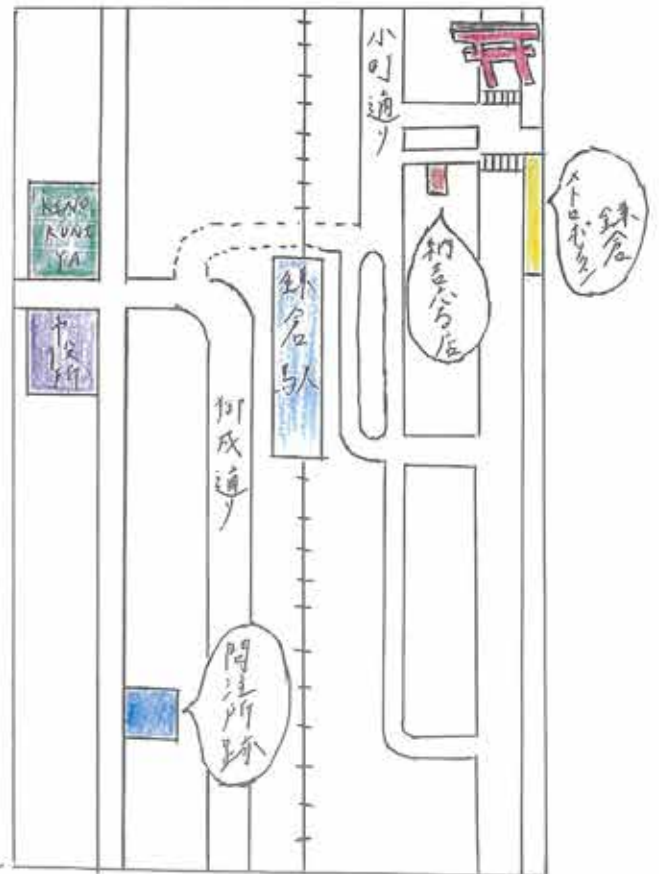
住所: 鎌倉市御成町9-18

徒歩: ホテルより約8分

ちよつと ちよつと
なごんし 和言心る店

長年愛され続けるお洒落なお店です。冬にはつぶあんこ
こしあんのお味が人気です。丹波の大粒小豆を使用し、
甘みがバツバツとなく、豆の美味いとも味わんす。
夏にはミルク金時のがこ氷、フトムゼンごんとツリあんが人気。
暑さ対策の冷たい甘味が揃っています。

営業日: 月-日 11:00-18:00 定休日: 水、第3木
(11/17:00)



アクセス

住所: 鎌倉市小町1-5-10

徒歩: ホテルより約3分

スゴッパ

北条義時 鎌倉
~13人の重臣~

ひき よしかず
比企能員
?~1203年



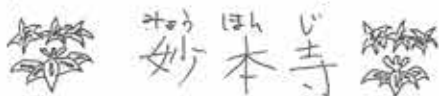
料金は現地にてご確認ください

~頼朝の信任厚く、外戚として台頭~

源頼朝の乳母・比企尼の養子で、この縁から頼朝の孝兵に従い、信任を得た。源頼家が誕生すると能員の娘・若狭局を妻としてむかえ入れ、頼家は比企一族を頼りにした。後に頼家の後継問題で北条時政(頼家の祖父)と対して殺害される。



ゆかりの地



ちなみに軍経もできます!!

料金: 2000円
時間: 10:00~15:00
予約が必要です。
TEL: 0467-22-0777

もとは比企能員の屋敷で、比企一族が北条氏と中心とする大軍に攻められ滅ぼされた地である。

その後、能員の末子、比企大学三郎能本が日蓮の為と比企一族の霊を弔うためお堂をたてたのが始まりとされている。



住所: 鎌倉市大町4-7-4
TEL: 0467-22-0777
営業時間: 9:00~17:00
拝観料: 志納(基本無料)
(お堂照明の機軸に現金、左納)
アクセス: IR「鎌倉駅」東口から
徒歩約10分
ホテルから徒歩約7分



定休日は月・火です

① 珈琲 井川 (喫茶店)
住所: 鎌倉市小町1-10-23
営業時間: 10:00~16:30 (日曜営業)

② ホリアジ (レストラン)
住所: 鎌倉市小町1-11-9
営業時間: 昼 11:30~13:30 夕 17:30~20:30 (日曜営業)

定休日は火です

少し遅めの朝食もしくは約本村観後に小休憩かアテ立ちするのもし、アットホームな雰囲気な喫茶店

住宅街の中にある為、隠れ家的な雰囲気なお店
昼食もしくはゆづり夕食に立ち寄るといいかもよな..

相当: S

北条義時

鎌倉

～13人の重臣～

ほうじょう

ときまさ

北条時政

1138～1215年

～北条氏を幕府の権力者にした初代執権～

伊豆国^{たかた}田方郡北条(現:静岡県伊豆の国市)の出身。平家が滅亡後、時政は頼朝の代官として京都へ上り、政治的な交渉や京都の治安維持に当たり、程なくして鎌倉へ戻る。頼朝亡き後、二代鎌倉殿十三人に選ばれる。台頭する北条氏に対して頼家の妻の美家である比企氏も勢力を強めた。頼家が危篤になり、跡継ぎ問題で十三人の一人、比企能員^{ひきよし}を名越^{なごえ}(現:鎌倉市大町)の自邸にて殺害し、比企一族を滅亡させた。その後、娘政子たちと共に美朝を三代鎌倉殿に立て、政所別当に就任し実権を握った。



ゆかりの地

しほかじょう きりじかし

釈迦堂切通し

由来は時政の子、義時の菩提を弔うため、ここに釈迦堂を建てたことから来ています。時政が鎌倉で過ごした自邸が鎌倉市大町一帯にあたり、宅地化により残っているのが「釈迦堂切通し」。正式には「国指定史跡大町釈迦堂遺跡」が文化財の名称です。以前は観光地であったが、1977年に落石があり、現在も通行止めです。大河ドラマの影響もあり、近いうちに通行できるよう定められています。

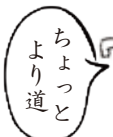


<アクセス>

住所: 鎌倉市大町6丁目

行き方: ホテルより徒歩約25分

またはJR鎌倉駅東口バス乗り場から緑ヶ丘入口行きで「名越」下車徒歩約15分



鎌倉市農協連即売所

主に鎌倉市内の農家の方が生産した農作物を自ら販売している農作物販売所です。通称「レイン」の名で地元の方に親しまれています。人気のある鎌倉野菜を新鮮な状態で購入できるので是非お立ち寄りください!!

<アクセス>

若宮大路沿いを由比ヶ浜方面へ行くより徒歩約5分

<営業時間>

毎朝8～17時
※無くなり次第閉店
休: 1月1日～1月4日

北条時政担当スタッフ: S

にかいどう ゆきまさ
二階堂 行政
 生没年不詳

~初期鎌倉政権を支えた実務吏僚~



平安末期から鎌倉初期にかけての下級貴族出身の吏僚。
 母方の縁で頼朝に招かれて鎌倉に下りました。
 鎌倉に下る以前は京都でキャリアを積んでおり、その経馬使から
 公文所の設置、寺社の差遣、敗政の業務に携わりました。
 永福寺の周辺に邸宅を構えたことから二階堂氏と名乗りました。
 代々政所執事を務めた二階堂氏の祖でもあります。

ゆかりの地

永福寺跡

源頼朝が1192(建永3)年に奥州合戦で亡くなった弟義経や藤原泰衡ら
 数方の霊を供養するために建立した寺院の跡です。

中尊寺の二階大堂、大長寿院を模した寺院で、鎌倉八幡宮や勝長寿院と
 ならんで当時の三大寺院の一つといわれています。

発掘調査により、建物の基壇、池などが
 復元整備されています。

アクセス

住所：鎌倉市二階堂209

バス：JR鎌倉駅東口から鎌倉宮(大塔宮)行き
 「大塔宮」下車、瑞泉寺方面に向い徒歩5分

徒歩：ホテルより約30分

開場時間

4月~10月：午前9時から午後5時、11月~3月：午前9時から午後4時30分

※年末年始含め毎日開場

鎌倉ハンバーグ屋/茶屋

黒毛和牛100%の手作りハンバーグが看板メニューの洋食レストラン。

季節のフルーツを使ったフルーツタルトもお楽しみいただけます。

営業時間：平日 11:00~15:00、イホ日 11:00~20:00

定休日：不定休、または水日曜午後

アクセス：JR鎌倉駅東口から徒歩20分

予算：ランチ~2,000円、ディナー3,000円



ちやうど
 ちやうど

北条義時

鎌倉

～13人の重臣～

あだち

とおもと

足立遠元

生没年不詳



料金は現地にてご確認ください

～武士出身の公文所寄人～

武蔵国足立郡を本拠とする平安末期から鎌倉初期にかけての武士で足立氏の祖といわれている。源義朝に従い、平治の乱で活躍した。武士として活躍する一方、京都での縁もあり、文筆に長けた人物であったと考えられる。源頼朝にも任え文章の保管や政務の処理などを行う公文所が開設される中、中原親能や二階堂行政などに失に能力を発揮し幕府の重鎮となりました。



ゆかりの地

ようふくじお

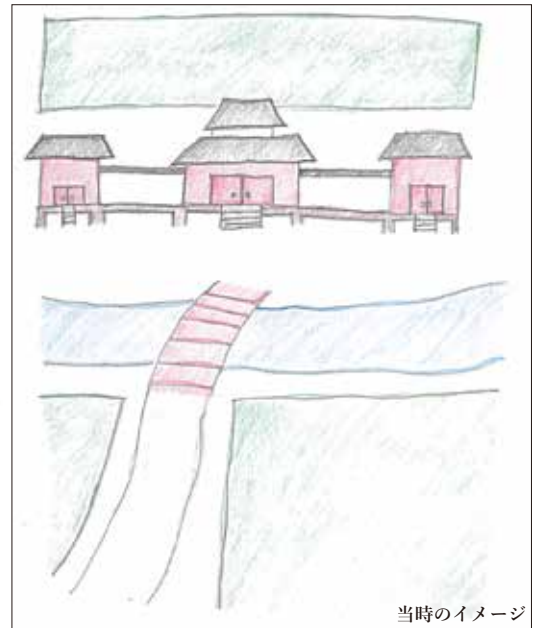
永福寺跡

久々の伽藍を再現した国指定史跡

鎌倉市は史跡整備のために1981年から発掘調査を進め2017年から一般公開している。中心に二階堂、左右対称に南に阿弥陀堂、北に薬師堂が並び御堂前には大きな池があったとされるこの三堂には各々三人の御家人を奉行に任命し、足立遠元は阿弥陀堂奉行のひとりだったとされる。

住所：鎌倉市二階堂209

アクセス：JR鎌倉駅東口から鎌倉宮(大塔宮)行バスで「大塔宮」下車、瑞泉寺方向に向って徒歩約5分



当時のイメージ

おがらてんじんじや
○ 荻柄天神社

学問の神様も祀る
由緒正しい神社

住所：鎌倉市二階堂74

アクセス：JR鎌倉駅東口から鎌倉宮(大塔宮)行バスで「天神前」下車徒歩3分

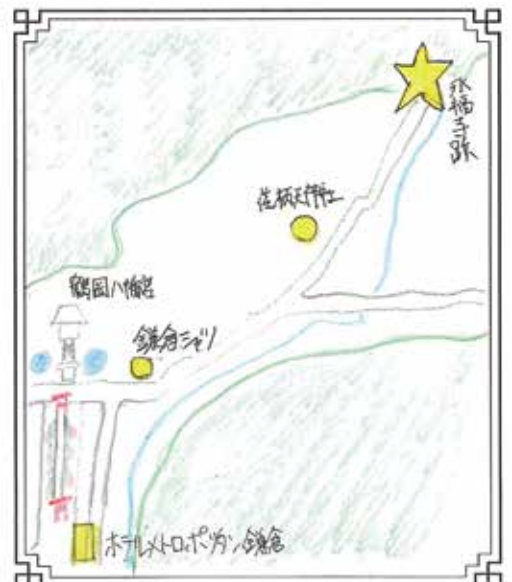
○ 鎌倉シヤリ

日本製のシヤリを
鎌倉から世界へ

住所：鎌倉市雪下3-1-31

アクセス：JR鎌倉駅東口から徒歩約15分

ちよつと
より道



足立遠元 担当スクワッド A

北条義時

鎌倉

～13人の重臣～

はった

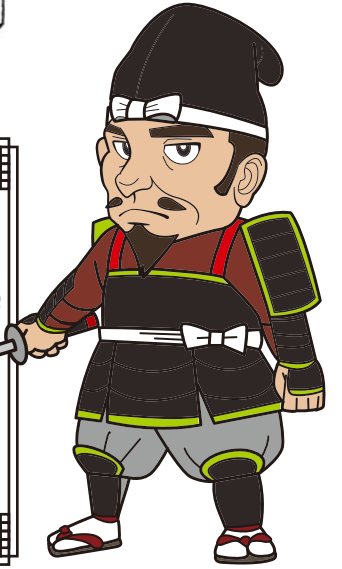
ともいえ

八田 知家

生没年不詳

～頼朝の父義朝の代から源氏を支えた～

下野守都宮氏(鬼怒川流域を治めた)の当主
 守都宮宗綱の四男。頼朝の乳母の寒河尼とは兄弟。
 1200年、従五位下筑前守に叙任。これは、
 源氏-平氏と北条氏以外の御家人として最初の受領
 拜任。茨城県つくば市に存在した小田城の築地者



ゆかりの地

大倉幕府跡石碑

(1180-1225年)

= 頼朝が建てた鎌倉政務の中心 =

1180年、平氏との富士川の合戦後、鎌倉
 に戻った頼朝は、大倉郷に御所を新造
 し、幕府政府機能をここに集中させる。

大倉幕府跡は鶴岡八幡宮の北東一帯
 の地域にあつたこと、当時東西南北に門が
 あり、八田知家の邸宅は、南門にあつたこと、



守都宮辻子幕府跡 (守都宮稻荷)

鎌倉幕府の所在地は3ヵ所あり、他に4代将軍藤原頼経が執務
 した守都宮辻子幕府(1225-1236年)、頼経から最後の9代将軍守邦親正まで
 続いた若宮大路幕府(1236-1333年)の3つである。当館は、守都宮辻子幕府が
 あつたエリア近くに建っています。

担当スタッフ Y